



森のなかま

2016年6月号

NO.98 (継続243号)

事務所が移転しています!!

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

(公財)かながわトラストみどり財団主催の第一回ブラッシュアップ研修会が行われました。

『野外における応急処置法』

講師: 日本赤十字社神奈川県支部 勝俣 氏

平成28年4月17日(日)10:00~15:00 場所: 厚木市プロミティ厚木

< 前田 弘美 13期 >

本日の講師が体調不良で急遽、来られなくなり、当日の実技補助のつもりで来られていた日本赤十字社の勝俣氏が臨時講師として講習会を行う事になりました。資料は、そのままで講義を開始。勝俣氏はさすがに場数を踏んだ講師、当日、見た資料でも要点をついて、自分の経験をもとに講義をされて行きました。

当日のスケジュールは①午前中: 講義(PPを使った)②午後: 実習(ここでもトラブル: AEDの電池切れ)

※資料はたくさんありましたので、要点をまとめました。

PP: パワーポイント

AED: 自動体外式除細動器 automated external defibrillator

・ファーストエイド(First Aid)って何??

最初に負傷者に出くわした人間(バイ・スタンダーと言う: 発見者、同伴者等)が行う最初の応急手当、救急処置のこと。ケガ人や病人が医療機関に搬送されるまでの間、その病気やケガの悪化を最小限に留める為の行為 ⇒ 医療行為は、伴わない。

・資料について

今回の頂いた資料は、ケガ人や病人の状況把握を的確に把握する事で、ファーストエイドのプライオリティ(優先順位)に対応できるように記載されていました。重要な事は、不確定要素を多分に持っているフィールドで常に、不慮の事故に備えておく事。その為には、知識と技術はできる限り身につけておく事が、自分自身又は、参加者(同伴者)の安全に結びつくと思ひながらの講義内容でした。

・午後は、上記の行動手順をもとに、三角巾の折り方(包帯)、三角巾を使った足首ねんどの固定方法等を実習。



(三角巾の折り方)



(足首捻挫の固定方法)

感じた事。最近では、専門機関による救急法の講習会が受講できる機会が増えています。ファーストエイドの知識をもっと知りたいと思います。



(講義風景)

・行動手順(ステップ)

- ①救護者を見つけた時は、
現場状況の把握 (二次災害を避ける)
⇒危険な状態なのか? 安全か判断。
⇒協力者を募る。
- ②安全な場所で、救護者の意識レベルの確認。
(初期評価: 重症度の判断)
⇒声をかけて、肩を叩いて反応を見る。
⇒反応がなく、痛み⇒一刻も早く119番へ
- ③一次救命措置 (実習あり。)
⇒損傷部の観察
⇒気道確保
⇒呼吸の確認
⇒心拍の確認
⇒出血の確認
⇒ショック状態かどうかの確認
- ④搬送 (救急隊への引き渡し)
⇒救急隊が来る前に、記録した情報をメモ書きし渡せるように整理。
・発生時刻・場所・負傷者の状態・人数
・外的環境・現在の状態・気になる点 等
※現物と一緒に採取、嘔吐物、写真でも





森林部会主催 「間伐 研修会」

日時：平成28年4月29日(土)8:50～ 9:10 天気：曇りのち晴れ

場所：やどりき水源林新定着エリア（第一休憩場所周辺及び第2休憩場所周辺）

< 稲野辺 健一 13期 >

朝方降っていた雨もあがり、スキルアップを目的とした間伐研修が行なわれました。新緑の中、人ひとりが通れるくらいの細道と滝の上にかけてられた橋を渡りながら目的地を目指しました。標高800メートルの後沢乗越近くの場所に到着すると、ツツドリやホトギスが鳴きながら出迎えてくれました。

そして班ごとに設定されたエリアに分かれて、予め選木されたヒノキを順番に間伐していきました。今回は研修で参加したインストラクターが、指導する立場になった場合の指導方法や滑車、フェリングレバー等の道具を利用した作業を確認の意味を込めて実践しました。

そのほか、「掛かり木」した際の対処方法として、滑車の原理を利用して伐倒する「三倍力」の手法は、少人数でも大きな効果を生むため、いざという時には是非とも活かしていきたいと思います。

最後に・・・今回の研修を通じて間伐に必要なプルージックをはじめロープワーク等の基本的な作業から、リスク管理やトラブル対処法を再確認する良い機会となりました。今回ご指導いただいた先輩インストラクターの皆様のように今後も研鑽を積んで参ります。



道具準備と班ごとに集合



新緑の中、谷を渡る



滝を横目に橋を渡る



研修開始「安全良し！」



エリア別に間伐を実施



間伐の指導方法を学習



研修風景①



研修風景②

【参加者】 高橋⑨、真貝⑪、澤村⑫、稲野辺⑬、岩田⑭、木村⑭、國広⑭、鈴木⑭、立花⑭、谷⑭、西岡⑭、水野⑭、小松⑭、牧石⑭

【講師】森林部会：滝澤⑤、松永⑪、石川⑫、佐藤(武)⑤

【スタッフ】 飯澤⑨、松永⑪、滝澤⑤

安全管理部会・森林部会・森林癒やし部会 主催

『安全管理に係る情報交換会』

日時：平成28年3月5日(日) 天気：くもりのち晴れ 場所：やどりき水源林



< 高橋 修 9期 >

参加パートナー様：神奈川トヨタプリウス森木会、タカナン乳業(株)、鶴岡八幡宮槐の会、日揮(株)

(五十音順)

3月5日(土)やどりき水源林において安全委員会、森林部会、森林癒やし部会の合同で、森林癒やしを活動に取り入れている上記の企業・団体にご参加いただき、第二回安全研修会を開催した。昨年第一回の安全研修会を開催し、イベントを企画する立場で注意すべき点を研修したが、その研修会で実技を通した安全研修の要望があり、今回は間伐作業を行う上での安全研修会を開催した。

まず参加者の紹介(自己紹介)から始まり、間伐作業における作業方法、危険作業、作業を行う前のKY(危険予知)活動等について、上田安全管理委員長から説明をし、実技場所である後沢入口付近のボランティア林へ移動した。

実技に先立ち、安全装備や作業道具について説明し、装備や道具の意味や重要性を理解して頂いた。

実習はまず、佐藤森林部会長の解説を基に癒やし部会員が手足となり、直径23cm程度のヒノキ1本を伐倒したが掛かり木となった。結果的には掛かり木の処理についても解説し、安全に処理する講義にもなった。

次に参加企業の方を2班に分け、各班1本ずつ間伐実習を行った。間伐は初めての方もおられたが、各班に佐藤部会長、上田委員長を講師として就いてもらい、癒やし部会員もサポートし丁寧に作業を行った。掛かり木も出たが無事作業を終えることが出来た。

昼食後、体験の感想や課題を討議する中でも活発な意見もあり、有意義な会議になったと思う。

引き続き各社との連携を深め、安全なイベントの継続と、各社間の懇親が発展できるようにしたいと思っています。



インストラクター：佐藤(武晴)⑤、上田⑩、森本⑤、若林⑦、草野⑧、時田⑩、宮下(修)⑩、

山下⑪、福島(正)⑪、吉田(郁)⑪、真貝⑪、東(一)⑫、安井⑫、高橋(修)⑨

熱中症を防ごう！ 熱中症の注意が必要な時期になってきました！！



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初委嘱されています。

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第13回 森林歩行はからだによい

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

生活習慣病、最近よく耳にする言葉です。不規則な食事や睡眠、運動不足、ストレスなどの日常の生活リズムが乱れることによって体の変調をきたし、高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの症状を引き起こします。規則正しい生活を送ることが健康を維持するには最もよい薬のようですが、仕事に追われたりしているとなかなかそうもいきません。

運動不足は生活習慣病の大きな引き金になっているともいわれています。仕事の自動化、交通網の発達、自動車利用の増加などが現代人の運動不足を加速しているのです。肥満が原因で起こるメタボリックシンドロームには運動不足の解消が効果的といわれています。



厚生労働省は「健康日本 21」の中で健康維持のために毎日の歩行数の確保をあげています。健康維持のためには毎日9000歩程度を歩くのがよいようです。とはいっても、人によって、年齢によって適した歩行数でよいのですが。人によって差はありますが10分の歩行はおよそ1000歩になり、距離としては600～700mに相当するということです。歩くことでからだを動かし、それが運動不足を補い、生活習慣病の予防にもつながることになります。万歩計を携えて歩く人も良く見かけるようになりました。

ところで、森林内を散策すると気分が安らぐ、ストレ

スが解消するといったことがよく言われています。これはビルが林立した都会や緑の少ない住宅密集地とは違った雰囲気がそこにあるからです。森林歩行をしながら健康なからだを維持することができ、気分的にも快適になれるなら一石二鳥です。それでは森林を散策した場合には生理的にどのような変化が起こるのでしょうか。以下に実証例をご紹介します。

8月のよく晴れた日に複数の人に血圧計を装着してもらい、木々のしげった森林公園内を2時間ほど森林浴を兼ねて森林歩行をしたときの結果が出されています。この例では大幅に最高血圧が下がることがわかっています。ところが森林の影響のない森林公園外を森林浴の場合とほぼ同じ歩行量、運動量で血圧を測定するとわずかに減少したにすぎませんでした。森林内歩行では気分的に安定し、森の外よりも血圧低下に大きな効果を示すことがわかったのです。

さらに副腎皮質から分泌されるストレスホルモンの血中コルチゾールが森林歩行では森林外歩行に比べて有意に減少することもわかっています。

樹木からの揮発性成分の影響を避けるために閉めきった部屋を非森林浴の場として設定し、森林浴の場合との生理的な変化も調べられています。

森林散策のあとでは心拍数が有意に減少しますが、非森林浴では変化が認められません。最高血圧も森林散策後には減少しますが非森林浴では変化が認められませんでしたし、アドレナリン、コルチゾールといったストレスホルモンも森林散策後には減少しましたが非森林浴では変化見られなかったという結果が出されています。このようなことから森林での歩行がストレスを解消し、緊張を解きほぐす働きがあることがわかります。

ある程度の歩行を毎日確保することは生活習慣病などの病気を吹き飛ばし、快適で健康な生活を送るには欠かせませんが、森林歩行ではさらにその効力が高まるといえそうです。

(イラスト 広報部 大塚 晴子)

活動短信

今回の掲載は平成28年4/12～5/9です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



無料イラストより



鴻鴈北 4/10～4/14頃
こがんきたす
鴈が北国へさっていく
第十四候 清明 次候

蛙始鳴 5/5～5/9頃
かわずはじめてなく
蛙が鳴き始める
第十九候 立夏 初候

◆ 日揮株式会社 新入社員の間伐体験

- 日** 4月12日(火) 9:10～13:30、晴れ
場 やどりき水源林
参 日揮社員 71名 スタッフ:日揮 坂井様
県 星様
イ L小沢⑨、L小野⑦、有坂⑧、鈴木⑧、三浦⑧、
村井⑨、大澤⑩、小笠原⑩、澤村⑫、西出⑫、
藺田⑬、木村⑭、立花⑭

やどりきの空は高く、山の景色は木々の芽吹きに明るく見える。広場に集合し倉庫から道具を運搬して、11班各6人分を班別に準備する。社員は既に同社のインストラクターにて、間伐作業に関する事前学習を受けていました。

10時に日揮社員が到着され開始式・挨拶、準備体操、写真撮影後、班毎に道具を携行して現地に出発。1、2班は巨木林から入り、他の9班はBコースより下る。対象木は径が小さいものの隣班との距離が接近した箇所もあり、安全第一を考慮し場所変更もあった。

現場では傾斜地で足場も悪く、小径木なるも樹高20mを超えるものも多くあり、伐倒準備が出来た班からインストラクターの“倒すぞ”際の大声が響き、着地音に緊張の中にも歓声があがった。

全員初体験の多い中、始終元気に対応され怪我やヒヤリハットもなく無事に終え12時過ぎ倉庫前に戻り、道具の手入れを済ませ13時水源林を後にした。

(記 立花 康美 ⑭)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>

◆ タカナシ乳業株式会社 パートナー林活動

- 日** 4月16日(土) 10:00～15:00、曇り一時晴れ
場 やどりき水源林
参 社員45名 (新入社員40名、
スタッフ:田中様、津浦様、稲様、松村様、河野様)
イ L宮下⑩、若林⑦、草野⑧、高橋⑨、時田⑩、
山下⑪、吉田⑪、福島⑪

春本番の暖かい一日が始まった。空は曇っているが気温は暑い位。今日のお客様は新入社員研修中の若人達。皆さま若さで元気いっぱいです。

まずは、挨拶後体操をこなし、森の役割の説明が始まる。各地域からの若者は、結構森のこともよくご存じだが、体系だった説明を興味深げに聞いています。

各人ヘルメットや鋸を装備してタカナシ様の溪畔林に向かう。班ごとに倒木や落ち葉などの整理をし、皆でミツマタを植樹。無事に大きく育ちますように。きれいになったところで癒やしの体験。ハンモックに寝転んだり、沢の水音を聞いたり、ハーブティーを飲みながら樹々の揺らぎを見たりの自然を味わいました。

昼食の後は直ぐにコースターにする丸太切り体験。上手な人もそれなりの人も。焼き印を押して本格的なコースターとなりました。午後は、森に入り、地面に寝転んで針葉樹の真つすぐな木の上に見える空と雲を。風の揺らぎや空気の匂いを感じたり、森を歩いて、クロモジの香りを嗅いだり。あっという間に過ぎた短い時間でありましたが、春の森の自然を楽しんで頂いた。

(記 吉田 郁夫 ⑪)

◆ 株式会社カナエル 森林再生パートナー活動

- 日** 4月20日(水) 9:30～13:30、晴れ
場 南足柄市 県立21世紀の森 マダケの展示林
参 佐野取締役他 計18名(男16名、女2名)
イ L村井⑨、小沢⑨

快晴の中、本日参加の皆様が数台の車に分乗し集合された。

駐車場広場に於いてオリエンテーリング開始、村井リーダーにより竹林代採作業の説明の後、準備体操、倉庫わきにてヘルメット 竹ひき鋸等を身に付けマ

ダケの展示林へ出発。

主な作業は竹林内で倒れたり、枯れてしまった竹の林内整備を行う。活動場所内は足の踏みいれ場も無い位、倒竹が散乱し、参加された皆さんが戸惑うほどでした。

経路脇に太めの竹を使用しカケヤ（大きな木槌）により代採集積場所を作る。

竹林内から経路へ出す人、経路にておよそ1.8m位に裁断し集積する人、途中休憩を入れながら作業を終了、整備された竹林を振り返り気持ちのいい汗をかかれたとの感想でした。

21世紀の森の看板の前で記念写真を取り、全員無事を確認し散会した。

（記 小沢 章男 ⑨）

◆ 株式会社日立システムズ

植栽ファミリ50植栽

日 4月23日（土）9:00～15:00、曇り

場 やどりき水源林フィールド

参 コーポレート・コミュニケーション部
部長代理 鈴木様 他 98名

（大人63名 子供35名）

イ L小沢⑨、森本⑤、辻村⑨、宮下⑩、福島⑩
小貝⑭、水野⑭、牧石⑭

前日の小雨も上がり、曇り空のなかオリエンテーション開始、インストラクター紹介、準備体操、本日の作業説明後、プロカメラマンによる参加者全員の集合写真撮影が行われました。その後、植樹班と待機班の2班（コナラ班、クヌギ班）に分けられました。待機班に対するおもてなしとして、丸太切り、癒やし体験（ハンモック）、ロケットラワンを交代で行いました。植樹は確立整備された階段を上がり指定区域の植樹場所に移動後、インストラクターが植樹手順の説明を行った後、最初の班は区画上部へ、次の班は下部へコナラ、クヌギ、カシの合計100本の植樹を行いました。植樹場所では昨日の雨の影響で、湿気が残っていた為、ヤマビル の出現に注意をしながら植樹が行われ、子供たちへのヤマビル被害も無く植樹を終了しました。

自然観察は植樹活動を終了して希望者のみの参加で対応は森の案内人が行いました。参加された皆様

より「笑顔で、ありがとうございました」の言葉をいただき無事終了致しました。

（記 牧石 稔 ⑭）

◆ 第9回秦野市植樹祭

<主催：秦野市市民による森林づくり実行委員会>

日 4月29日（金）（昭和の日）9:00～12:00、曇り

場 秦野市 弘法山（植樹会場）

参 秦野市長、市民ボランティア、関係団体、事務局、合計約150名

イ L西出⑫、渡辺③、杉崎⑩、松本⑪、大原⑬



（挨拶する秦野市長）

天気が心配でしたが、予定通り活動を終えることができました。秦野市は、平成22年5月開催の第61回全国植樹祭をきっかけに、環境・森林保全への市民意識、市民力・地域力を結集し、100年先の秦野らしい森林づくりを進めるため、植樹祭を開催しており、今年度は、弘法山で、山桜、イロハモミジ100本植樹しました。主催者（市長、議長、自治会連合会会長、ライオンズクラブ会長）、来賓（県議会議員、市議会議員、財産区議長・議員、地元自治会長等）、関係団体に市民ボランティアが多く参加しました。市民ボランティア100名募集の処、150人以上の希望者が有ったとのこと。

参加者全員で記念写真の後、私達インストラクターの指導で、植樹となりました。子供連れの家族も参加していました。植樹の場所は、キンラン、ギンランがところどころで開花し、ヤマユリの若葉も見られ、とても環境の良い場所でした。将来、春の山桜、秋のイロハモミジで、豊かな秦野の森林となるのが楽しみです。植樹祭後、植樹した傍で、心地良さそうに昼食をとっている市民ボランティアの方々が印象に残りました。

（記 大原 正志 ⑬）

◆ 自然観察会「21世紀の森の山野草観察」

日 5月7日(土) 10:00~15:00、晴れ

場 南足柄市 県立21世紀の森

参 9名

スタッフ 21世紀の森園スタッフ1名

イ L杉崎⑩

「21世紀の森園内を散策しながら森に生えている山野草を観察」(昨年に続き2回目の企画)

参加者は単身1名と3家族(4+2+2)8名の9名。

10時ふれあいセンターで、挨拶やメンバーの紹介、スケジュール等の打合せ後、内山林道→休憩所(昼食)→セントラル広場→展望所→天然の森コース→ふれあいセンターの行程で、おりおり触れる動植物を五感で味わう。

色の付いた実が目につけばぱっと口に運ぶ児。花や葉っぱの匂いを嗅ぎまくる児。

3, 4, 4, 6, 8歳児の5名は自然が大好きだ。

好天に恵まれ展望所では爽やかなみどりのそよ風に吹かれながら、足柄平野と相模湾がきれいに望まれ歓声があがる。

天然の森コースを下りかけると、目の高さで2羽のヒガラが一本の木の周りを騒がしくホバリングしている。よく見ると樹洞に半身を潜らせたアオダイショウがいる。

ここ21世紀の森は自然がいっぱいだ。

(記 杉崎 恒三 ⑩)

◆ 横浜市菅田小学校

(愛川宿泊体験学習)

日 5月8日(日) 9:00~15:00、晴れ

場 愛川ふれあいの村、高取山、仏果山

参 小学4、5年生約70名、教員、ボランティア8名

イ L武者⑦、滝澤⑤、白畑⑦、有坂⑧、内野⑨

西出⑫、大原⑬、牧石⑭

本日晴天で、爽快な気分で活動ができた。

学校の到着が少し遅れたが、簡単なオリエンテーションを済ませ、9:15頃活動開始(予定は9:00)をした。自然観察をしながら、12班6グループ(4、5年生混成)で高取山、仏果山へ登山し、水源林の役割、森林や山の自然を大切にする必要性を、お話した。植物は杉、檜を終了するまでに、この二つは覚えても

らった。

参加児童全員が、怪我もせず、二つの山を踏破でき、良い体験になったと思われます。下山終了は15:15(予定は15:00)となり終りの挨拶をし、自然観察活動は終了。

(記 武者 直 ⑦)

人も自然も いきいき 丹沢

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

熊と蜂蜜とアキオさん

横浜初上映!!

「チケットぴあ」から
入場券が購入できます
購入は5月17日(金)迄お申し込み
(Pコード:555-329)
「セブンイレブン」「サークルK-サンクス」
でチケットの発券ができます

福島県奥会津の金山町
自然と共に生きる
新マタギ物語

映画上映前に安孫子監督
のメッセージビデオを上映

監督:安孫子亘

6月18日(土)鶴見公会堂(西友6階)
【上映各回30分前より開場】 (注意)いつもと食感が異なります 電話045-583-1353
①11:00 ②13:00 ③14:40 交流会12:30

後援:横浜市教育委員会

【入場料】前売:1,000円※ 当日:1,300円 障がい者:1,000円 助者1名無料
※前売料金(1,000円)を6月16日(木)夜に下記の口座へご入金いただければ、チケットを当日受付にてお渡しいたします。
ゆうちょ銀行組合口座 記号 10200 番号 22932931 加入者名:ヨコハマキネマクラブ
【主催・問合せ】電話080-8118-8502(10時~18時)横浜キネマ倶楽部
【プレイガイド】有隣堂伊勢佐木町本店電話045-261-1231/高橋書店(元町)電話045-664-7371
いつみ書房電話045-241-1104/シネマジャック&ベティ(黄金町)電話045-243-9800
横浜シネマリン電話045-341-3180/チケットぴあ ちけっとぽーと横浜店(ポルタ)電話03-5561-7714
【チケットぴあ】(Pコード:555-329)「セブンイレブン」「サークルK-サンクス」でチケットの発券ができます

投稿概略フォーマットと略語の説明

ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)

場 場所

参 参加者&人数

県 神奈川県 環境農政局 水・緑部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター(○数字:期) 研:研修枠

(以下本文を概ね400字を目安として執筆ください)

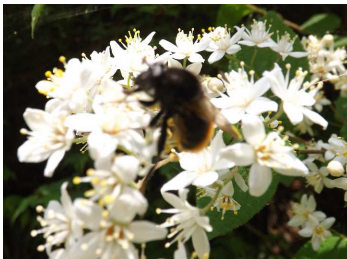
リーダーは責任を持って執筆者の選択をお願いします。

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします

やどりき水源林 ミニガイド

5月のトピックス

種々のウツギが咲き始めていました。



マルバウツギ と コマルハナバチ
(5/14 松本撮影)

6月の水源林

梅雨前のやどりきは最高の時期です。水遊び、水棲生物、植物、動物、そしてサンコウチョウ(三光鳥)の「月日星ホイホイ」が聞けますよ。

「森の案内人」情報

●実施時間: 毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時, 1~2時間程度

●集 合: 水源林入口ゲート前

●内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ: (公財) かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255
FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

2016 第5弾 Let's Go! 丹沢・大山 やまなみ登頂スタンプラリー

(ホームページ) <http://www.kankou-hadano.org/tanzawastamp rally/>

★スタンプを集めて「四季の丹沢やまなみ手ぬぐい」をもらおう!

参加方法 登山口等で台紙を購入

達成方法 登る、ひたすら登る、そして押す!

ご注意ください! 標高1000mを越える山頂を目指します。登山グッズと寒暖に合わせた登山服装が必要です。四季の丹沢やまなみ手ぬぐいは全部で4種類(交換する季節によって異なる場合があります)!!

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

●開催期間 ● 平成28年4月1日~平成29年3月31日

【主催】一般社団法人 泰野市観光協会

【協力】小田急電鉄(株) / 丹沢山小屋組合 / 泰野市 / 伊勢原市

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s.akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871 小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)

〒214-0006

川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★バラとクレマチスが見事に咲き、新緑も深い緑色へと変わりました。近所の梅の実が日に日に大きくなり、もうじき梅雨ですね。

(大塚)

★こどもの日にやどりき若葉祭りに参加しました。今年も盛況でした。帰りに家族で小町に寄る事に。お母さん、ごちそうさまでした。

(赤崎)

★近くの浅川沿いでヤマグワの実を見つけて、早速ほお張ってみました!! 美味しい!!

口を紫色に染め、この季節ならではの幸せのひと時でした。

(小川)

★家の近くのどくだみが満開になって来ました。満開になる時期に蛍の活性が上がるそうです。今年も見逃さないようにしたいですね。

(蘭田)

★一気に夏の暑さにに変わり、夏対策グッズを忘れ、しまった!! 続きです。

(水口)

カジカ蛙

5/14 撮影

(水口)



★新国立競技場の資材は国産木材を鉄骨とハイブリッドし使用するとのこと。日本の林業等の森林関係の活性化が図られればとてもうれしいです。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛までご寄附2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人: 松本 保
事務局: 福島 正治
広報部: 水口俊則 赤崎さほり
小川和恵 蘭田栄哉
大塚晴子 小池 哉
支援 伊藤恭造 大原正志
江頭淑子

ホームページ <http://kaisei-ajisai.com/>

開成町あじさいまつり 概要



2016 開成あじさい祭開催決定しました!

平成28年6月4日(土)~12日(日)の9日間
ご来場を心よりお待ちしております。

只今、2016年度の内容を決めております。決定次第ホームページでお知らせします。

ホームページ内容は昨年度の情報ですが、随時更新していきます。

開成町あじさいまつり特別展

開成町指定重要文化財・築約300年前の古民家

あしがかり郷 瀬戸屋敷

